

2014年5月期 第2四半期 決算概要

- 売上高は 102,619 百万円(前年同期比△0.3%)と前年同期とほぼ同水準
- アウトソーシング、インソーシング(委託・請負)、グローバルソーシング(海外人材サービス)などが増収となった一方で、エキスパートサービス(人材派遣)は回復基調にあるものの、派遣職種の適正化影響による自由化職種の終了増等により増収には至らず
- アウトソーシングやグローバルソーシングの増収により粗利率が改善し、売上総利益が増加
販管費は一部下期への期ずれもあり前年同水準に抑えられた結果、
営業利益は 1,038 百万円(+45.3%)、経常利益は 961 百万円(+38.8%)と大幅な増益
- 四半期純損失 25 百万円となったものの、前年同期と比較して大幅に改善

1. 第2四半期(累計)連結業績 (2013年6月1日~2013年11月30日)

(百万円)

	2013年5月期	2014年5月期	増減	増減率
売上高	102,976	102,619	△356	△0.3%
売上総利益 (売上比)	19,070 18.5%	19,410 18.9%	+340 +0.4pt	+1.8%
販売費及び一般管理費 (売上比)	18,355 17.8%	18,372 17.9%	+16 +0.1pt	+0.1%
営業利益 (売上比)	714 0.7%	1,038 1.0%	+323 +0.3pt	+45.3%
経常利益 (売上比)	692 0.7%	961 0.9%	+268 +0.2pt	+38.8%
税金等調整前四半期純利益 (売上比)	654 0.6%	920 0.9%	+266 +0.3pt	+40.6%
四半期純損益 (売上比)	△454 -	△25 -	+429 -	-
1株当たり四半期純損益	△12円14銭	△0円67銭	+11円47銭	-

※ 2013年12月1日をもって当社株式を1株につき100株の割合で分割するとともに、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しています。1株当たり四半期純損益は前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

2. セグメント別連結業績 (セグメント間取引消去前)

(百万円)

	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
HRソリューション	101,563	△1.0%	2,935	△4.3%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負)他	86,482	△2.5%	1,173	△8.0%
エキスパートサービス(人材派遣)	62,198	△4.8%	1,173	△8.0%
インソーシング(委託・請負)	18,967	+1.7%		
HRコンサルティング、教育・研修他	2,036	+8.1%		
プレース&サーチ(人材紹介)	1,558	+6.6%		
グローバルソーシング(海外人材サービス)	1,720	+29.9%		
アウトプレースメント(再就職支援)	5,644	△1.8%	796	△13.1%
アウトソーシング	9,436	+15.4%	965	+10.3%
ライフソリューション パブリックソリューション シェアード	2,547	+29.6%	8	△54.3%
消去又は全社	△1,492	-	△1,905	-
合計	102,619	△0.3%	1,038	+45.3%

●セグメント別業績

※()内は前年同期比

HRソリューション

エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)他

売上高 86,482 百万円(△2.5%) 営業利益 1,173 百万円(△8.0%)

[エキスパートサービス]

売上高 62,198 百万円(△4.8%)

- 景気回復を受けて、金融やメーカーをはじめとする幅広い業界で受注が増加
- NISA(少額投資非課税制度)対応で金融事務の需要が引き続き増加し、IT 関連などの専門職派遣も堅調に推移するなど足元の業績は回復
- 派遣職種の適正化影響を受けた自由化職種において期間制限による契約終了等が予想を上回る
- 2013 年 9 月に(株)ジャックスの子会社であった(株)サポートを完全子会社化したほか、富士火災海上保険(株)の子会社である富士火災ビジネスソリューションズ(株)の人材派遣事業を譲り受け、専門人材と顧客基盤を拡充

[インソーシング]

売上高 18,967 百万円(+1.7%)

- 民間企業において業務効率化やコスト削減等の成果が評価され、同一企業内での業務の追加受託や別部署からの新規受託など、サービスの横展開が拡大
- 派遣からインソーシング、さらに BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)へとサービス領域の拡張も進み、より広範な課題に対するソリューション提供が可能になってきたほか、クラウド技術を活用した案件も増加
- (株)アサヒビールコミュニケーションズの商品受発注業務の受託等も寄与した結果、民間企業からの受託が大幅に増加
- 官公庁・自治体等のパブリック分野では、予算終了に伴って緊急雇用案件が減少したものの、行政事務代行の受託が順調に拡大し、インソーシング全体の粗利率改善が進む

[HR コンサルティング、教育・研修他]

売上高 2,036 百万円(+8.1%)

- 「J プレゼンスアカデミー」を運営するキャプラン(株)を中心にグループ全体で提案を強化した結果、コミュニケーション、接客マナーなどの「おもてなし研修」やマネジメント研修が増加
- 企業の人材一元管理を支援するタレントマネジメントシステムの導入企業およびユーザー数が増加

[プレース&サーチ(人材紹介)]

売上高 1,558 百万円(+6.6%)

- 企業業績の回復に伴い生産設備や IT インフラへの投資なども増加したことから、IT 関連や製造業をはじめ幅広い業界で求人が増加し、受注が高水準で推移
- 求人増に対応して Web リニューアルなどにより人材募集を強化したほか、キャリアコンサルタントを増員してきめ細かいカウンセリングに注力

[グローバルソーシング(海外人材サービス)]

売上高 1,720 百万円(+29.9%)

- 北米の景気改善に伴い日系メーカーが再進出していることや、ASEAN への生産拠点移転などにより、海外における日系企業の人材需要は堅調に推移し、人材派遣、人材紹介共に拡大
- 駐在員の給与計算・労務の一括管理や採用代行などのアウトソーシングサービスも、顧客の日本本社と現地法人双方のニーズを汲み取った営業戦略が奏功
- 為替が円安に推移した影響もあり、売上は大幅に伸長

当セグメントの売上高は減収となったものの、グローバルソーシングの増収等によって売上総利益のマイナス幅が抑制された一方で、人員強化等の先行投資を行ったことから販管費は前年同期と同水準となり、営業利益は減益

アウトプレースメント(再就職支援)

売上高 5,644 百万円(△1.8%) 営業利益 796 百万円(△13.1%)

- 前期は円高や企業収益の悪化等の要因により、受注がリーマン・ショック時に次ぐ高水準で推移したが、当期は景気回復により本来の水準に落ち着く
- 生産拠点の海外移転や事業構造の変化に伴う需要が下支え
- きめ細かいキャリアカウンセリングや新規求人開拓に注力し、再就職決定の早期化は続いたものの、営業戦略上、全国を網羅する拠点を維持したことなどから原価率が上昇
- 営業利益は計画は上回ったものの、前年同期比では減益

アウトソーシング

売上高 9,436 百万円 (+15.4%) 営業利益 965 百万円 (+10.3%)

- 主力の福利厚生事業はメニュー拡充により会員が順調に増加
- 報奨金等をポイント化して管理・運営するインセンティブ事業も堅調に推移
- 取引先と協働で個人顧客向けサービスを展開するパーソナル事業においても会員が順調に増加
- 健診予約代行から特定保健指導の実施に至るまでのワンストップサービスを提供するヘルスケア事業も増収に大きく寄与

ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 2,547 百万円 (+29.6%) 営業利益 8 百万円 (△54.3%)

- ライフソリューションは、保育関連事業を展開する(株)パソナフォスターが保育所の新規開設や受託により増収となったことに加えて、2013年5月に(株)パソナソーシングから福祉介護・家事代行事業を承継した(株)パソナライフケアが当セグメントに加わったことから大幅な増収
- 保育関連事業における新規大型保育施設の開業に伴い人件費などの原価が膨らんだことや、地域活性化事業を本格的に開始したことによる先行的なコスト増により減益

消去又は全社

売上高 △1,492 百万円 営業利益 △1,905 百万円

- グループ間取引と持株会社(株)パソナグループの販管費を含む
- 前年同期には大阪のグループ拠点開設や地域活性化事業における兵庫県淡路島の新規施設などへの投資コストが当セグメントに含まれていたことから、当期のコストは前期と比べて大幅に減少し、営業利益は改善

3. 財政・投資の状況

● 財政の状況

(百万円)

	2013年5月期 期末	2014年5月期 2Q末	前期末比		増減要因
			増減	増減率	
流動資産	47,836	44,179	△3,657	△7.6%	現金及び預金の減少 4,894 百万円、受取手形及び売掛金の増加 1,149 百万円等
固定資産	23,439	24,344	904	3.9%	
資産合計	71,276	68,524	△2,752	△3.9%	
流動負債	33,737	31,779	△1,957	△5.8%	買掛金の減少 1,029 百万円、未払法人税等の減少 754 百万円、退職給付引当金の減少 211 百万円等
固定負債	11,284	11,001	△283	△2.5%	
負債合計	45,022	42,781	△2,241	△5.0%	
純資産合計	26,253	25,743	△510	△1.9%	四半期純損失 25 百万円、配当金の支払 374 百万円、少数株主持分の減少 89 百万円等
自己資本比率	29.3%	29.9%	+0.6pt		

● キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の期間末残高15,083百万円(前期末比△4,865百万円)

(百万円)

	2013年5月期 2Q(累計)	2014年5月期 2Q(累計)	増減	資金増減の主な内訳
営業活動によるCF	△681	△2,197	△1,515	税金等調整前四半期純利益 920 百万円、減価償却費 1,219 百万円、売上債権の増加 985 百万円、営業債務の減少 1,018 百万円、法人税等の支払額 1,317 百万円等
投資活動によるCF	△3,001	△2,465	536	固定資産の取得による支出 1,087 百万円、投資有価証券の取得による支出 859 百万円、子会社株式の取得による支出 355 百万円等
財務活動によるCF	△3,688	△312	3,376	長期借入れによる収入 2,000 百万円、長期借入金の返済 1,291 百万円、配当金の支払額 729 百万円等
フリーCF	△3,683	△4,662	△979	

4. 2014年5月期(2013年6月1日～2014年5月31日) 連結業績予想

エキスパートサービス(人材派遣)においては、派遣職種の適正化影響による契約終了も足元では落ち着いてきており、受注も引き続き堅調に推移していることから、下期に向けて回復は加速すると見えています。インソーシング(委託・請負)についても同様に新規案件が増加しており、また、有効求人倍率の改善等を背景にプレース&サーチ(人材紹介)も堅調な状況が続いています。

一方、利益面では、アウトプレースメント(再就職支援)において再就職決定の早期化等により利益が前倒しで計上されたことに加え、販管費の一部が下期に期ずれしていることなど、いずれも通期では影響がないことから、2014年5月期の通期連結業績予想については、2013年7月12日に公表した業績予想を据え置きます。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2014年5月期 業績予想	222,000	3,430	3,320	480	12円82銭
2013年5月期 実績	207,685	3,176	3,187	610	16円30銭
前期比増減率	+6.9%	+8.0%	+4.2%	△21.4%	△21.4%

●セグメント別通期連結業績予想 (セグメント間取引消去前)

(百万円)

	売上高	前期比	営業利益	前期比
HRソリューション	219,570	+6.2%	7,020	△6.7%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負)他	187,140	+5.8%	3,170	+19.1%
エキスパートサービス(人材派遣)	130,320	+0.5%	3,170	+19.1%
インソーシング(委託・請負)	45,300	+22.4%		
HRコンサルティング、教育・研修他	4,310	+5.3%		
プレース&サーチ(人材紹介)	3,520	+22.7%		
グローバルソーシング(海外人材サービス)	3,690	+14.0%		
アウトプレースメント(再就職支援)	10,430	△14.8%	830	△61.6%
アウトソーシング	22,000	+24.9%	3,020	+12.0%
ライフソリューション パブリックソリューション シェアード	5,410	+37.6%	△40	—
消去又は全社	△2,980	—	△3,550	—
合計	222,000	+6.9%	3,430	+8.0%

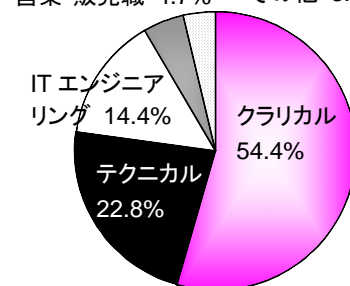
5. 参考データ

●エキスパートサービス 職種別連結売上高 (セグメント間取引消去後)

(百万円)

	2013年5月期 2Q(累計)	2014年5月期 2Q(累計)	前年同期比
クラリカル	35,998	33,740	△6.3%
テクニカル	14,458	14,134	△2.2%
ITエンジニアリング	8,800	8,956	+1.8%
営業・販売職	3,102	2,927	△5.6%
その他エキスパートサービス	2,828	2,313	△18.2%
合計	65,188	62,072	△4.8%

営業・販売職 4.7% その他 3.7%



2014年5月期2Q 構成比

●連結業績 四半期推移

(百万円)

	2013年5月期				2014年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	51,270	51,705	50,585	54,123	51,212	51,406		
前年同四半期比	+11.7%	+15.0%	+14.0%	+17.0%	△0.1%	△0.6%		
売上原価	41,753	42,151	40,562	43,141	41,179	42,029		
前年同四半期比	+11.6%	+14.5%	+12.3%	+15.5%	△1.4%	△0.3%		
売上総利益	9,517	9,553	10,022	10,982	10,032	9,377		
前年同四半期比	+12.1%	+17.1%	+21.5%	+23.3%	+5.4%	△1.8%		
販売費及び一般管理費	9,181	9,174	8,984	9,557	9,197	9,174		
前年同四半期比	+16.4%	+14.2%	+13.8%	+19.1%	+0.2%	+0.0%		
営業利益	335	379	1,037	1,424	834	203		
前年同四半期比	△44.3%	+209.0%	+192.1%	+61.0%	+149.0%	△46.4%		
経常利益	330	362	1,010	1,483	798	163		
前年同四半期比	△41.0%	+96.5%	+156.8%	+55.7%	+141.5%	△54.9%		
税金等調整前四半期純利益	306	347	1,009	1,539	778	142		
前年同四半期比	△44.5%	+48.2%	+162.4%	+47.2%	+153.7%	+59.2%		
四半期純損益	△193	△260	160	904	103	△128		
前年同四半期比	-	-	-	+563.1%	-	-		

●セグメント別売上高 四半期推移

(百万円)

セグメント	2013年5月期				2014年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
エキスパートサービス	32,971	32,354	31,206	33,188	31,169	31,029		
前年同四半期比	+4.9%	+6.8%	+4.2%	+7.6%	△5.5%	△4.1%		
インソーシング	9,149	9,508	8,902	9,446	9,327	9,640		
前年同四半期比	+36.2%	+40.4%	+37.8%	+38.9%	+1.9%	+1.4%		
HRコンサルティング他	916	968	950	1,258	1,013	1,022		
前年同四半期比	+85.4%	+110.2%	+158.4%	+183.0%	+10.6%	+5.6%		
プレス&サーチ	743	717	615	792	762	796		
前年同四半期比	+30.1%	+6.7%	△10.5%	+4.4%	+2.5%	+10.9%		
グローバルソーシング	668	655	912	1,000	866	853		
前年同四半期比	+17.4%	+30.4%	+68.6%	+40.0%	+29.7%	+30.2%		
アウトプレースメント	2,724	3,021	3,169	3,319	3,060	2,584		
前年同四半期比	+8.9%	+26.7%	+36.8%	+38.8%	+12.3%	△14.5%		
アウトソーシング	3,886	4,289	4,526	4,907	4,552	4,883		
前年同四半期比	+13.4%	+17.9%	+20.0%	+19.1%	+17.1%	+13.9%		

●セグメント別営業利益 四半期推移

(百万円)

セグメント	2013年5月期				2014年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
エキスパートサービス インソーシング HRコンサルティング他 プレス&サーチ グローバルソーシング	603	672	562	823	653	519		
前年同四半期比	△6.2%	+65.8%	+149.7%	△12.1%	+8.3%	△22.7%		
アウトプレースメント	388	528	568	678	613	182		
前年同四半期比	+7.6%	+127.1%	+393.8%	+438.8%	+58.0%	△65.5%		
アウトソーシング	469	406	891	929	530	435		
前年同四半期比	+26.1%	+3.2%	+3.2%	+9.3%	+13.1%	+7.1%		

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。